



《タブレット導入2年目を迎えました》

九小で児童用タブレット端末の運用が始まって1年余り経ちました。昨年度から利用している学年では、日常の授業の中で活用したり、持ち帰り時には自宅で充電を行ってることが当たり前になっていたり、『文房具』としてのタブレットが定着してきたことを感じます。

一方導入2年目だからこそ課題も発生しました。一つ目は卒業生が使っていたタブレットを1年生向けに設定しなおす作業をどのように行うかという問題です。二つ目は教職員の異動によって学級間で活用状況に差が生じる可能性があるという問題です。

どちらも来年度以降も発生する課題です。九小では次のように対応してきました。

一つ目の課題については、保護者ボランティアの皆様にご協力をいただき、土曜授業日に算数教室を使って初期設定を一緒に行っていただきました。100台ほどあり、1日で終わらない可能性もありましたが、参観の合間を縫って多くの保護者の皆様に参加いただき、無事に1日で設定を終えることができました。学校によっては、高学年が初期設定を行ったり、教員が行ったりすることもあります。保護者ボランティアにご協力いただいたことで、確実に短時間で言うことができました。

二つ目の課題については、低学年・中学年・高学年・専科と職員室内のグループ毎に操作や学習場面の活用について共有しあうようにしました。また、教員同士で自分の専門分野について教えあう「OJT研修」の時間を活用して、端末操作や活用に関する情報を共有したり相談したりできる体制を作りました。

子供たちのタブレットを活用した学びはすでに日常になりつつあります。ICTは、大人でも得意・不得意が分かれる分野ですが、教員同士助け合い、時に保護者の力をお借りしながら、持続可能な学びの環境づくりも行っていきたいと思えます。

GIGA通信では、学校でどのようにタブレットを活用しているか、タブレットを活用したことによる成果と課題、および九小が取り組んでいく情報教育についてお伝えしていきます。

《活用のようす》

九小では、授業のほかにもクラブや委員会など様々な場面でタブレットを活用しています。また、毎月1回『GIGAタイム』を設定して、情報モラルに関する指導やタブレットを活用する技能を習熟するための時間に充てています。

【GIGAタイム】

7月のGIGAタイムには、6年生による1年生への『はじめてのタブレット教室』が開催されました。内容は、1年生が初めてのタブレット操作『ログイン』を6年生がマンツーマンで教えるというものです。キーボードに初めて触れる1年生にとって、ユーザーIDとパスワードを入力することはとても難しいことなのですが、6年生はとても丁寧に粘り強く教えてくれていました。6年生は「できるだけ、1年生に操作させてあげてください。」とお願いしてあったので、とてもゆっくり入力する1年生を優しく見守る6年生がどの教室でも見受けられて、温かい気持ちになりました。最後は1年生が6年生にお礼とお別れのあいさつをして、この日のGIGAタイムは終了しました。

このとき他の学年は、新しくなった『タブレット活用のルール(教室用)』について学級で指導を受けました。

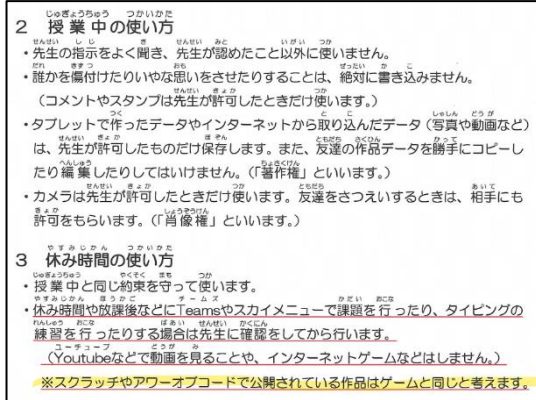


上:体育館のようす

下:1年生の教室のようす



【タブレット活用ルール】



タブレット活用ルールは教室にも掲示していつでも確認できるようにしていますが、子供たちの使い方に合わせて改訂を重ねてきました。昨年度初版を作成しましたが、4月には肖像権や著作権について追記しました。7月には「スクラッチ」や「アワーオブコード」といったプログラミング学習のサイトに公開されている他人の作品(ゲーム)を使って遊ぶことを禁止する文言を追記しました。改訂の度に、GIGAタイムで「どこが変わるのか、どうしてルールを変えるのか」を指導しています。

タブレットを日常的に使いこなすようになってくると、大人の想定を超えた使い方をする子も出てきます。タブレットには、iフィルター(有害サイトを表示しない、フィルタリングソフト)がインストールされていますが、表示されるサイトすべてが有益で、子供が使えるサイトというわけではありません。実態に合わせて、ルールを変更し、あわせて指導を行っていきたいと思います。

【学年のようす】

1年生は、パスワードの入力だけでなく写真の撮影、タッチペンを使った入力まで学習してから夏休みを迎えます。まずは基本的な操作に慣れることを目標にがんばっています。

2年生以上では、「Teams」を活用する場面が増えています。各クラスのチーム(子供たちがアクセスするTeams上のグループ)に学習の中で使用するサイトへのリンクを用意したり、先生から配布されたワードやパワーポイントの課題を自分のタブレット上で編集して提出したり、学年の学習に応じて活用を進めています。

また、学習の終わりに「ふりかえり」としてその授業で分かったことや次に生かしたいことを書く活動を行います。タブレットを使ったアンケート方式で回収している授業もあります。こうすることで、全員の意見を集約しやすいというメリットがありました。

《夏休みの持ち帰りについて》

今年の夏休みは全ての学年で持ち帰りを行います。ご自宅で使用される際をお願いしたいことを何点かお伝えします。

① 使用制限について

国分寺市内の小中学校で使用しているタブレットは、夜10時から朝6時まで使用制限がかかっています。

制限時間中、タブレットは起動しますが、インターネット接続が出来なくなります。

「九小タブレット活用のルール」では、低学年は午前7時から午後7時、中学年は午前7時から午後8時、高学年は午前7時から午後9時が使ってもよい時間としています。使用制限の有無に関わらず、「九小タブレットルール」または、ご家庭で決めた時間を守ってタブレットを使用させるようにしてください。

② 個人情報の取扱いについて

「Teams」、「スカイメニュー」、「まなびポケット」は、学校と家庭と子供たちをつなぐアプリケーションです。そのため、様々な個人情報が含まれます。これらアプリケーション上の情報(写真、動画、文字データなど)を転用したり、持ち出したりすることなく、安全に使えるように見守ってあげてください。

③ 充電について

タブレットは、夜間にメンテナンスのためのプログラムが遠隔で実行されるため、「スリープモード」で使用を終了するようにしています。そのため、電源を入れなくても充電が大きく減ることがあります。使用しなくても定期的に充電するようにしてください。(3日に1度程度)また、登校の前日にも充電をするようお願いいたします。

④ 本体等の扱いについて

精密機器のため、ほこりや水分、衝撃に気を付けてください。本体、ACアダプタなどは市からの貸与品です。紛失や破損に注意し、大切に扱うようにしてください。(できるだけ、自宅でのみ使用するようにしてください。)